

# 保健だより



担当 加藤保健師

## 結核について学ぼう

皆さん、こんにちは。朝夕が涼しくなり過ごしやすい季節となりましたが、体調はお変わりないですか？

さて、9月24日～30日は結核予防週間です。今回は、結核についてお話しします。

### ◎結核ってどんな病気？

結核は、結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。そして、症状の進んだ患者のせきやくしゃみに含まれている結核菌を吸い込むことで感染します。しかし、感染しても必ず発病するわけではありませぬ。発病しない人は、免疫の働きによって、結核菌が抑えられているからです。ただし、免疫力が低下すると結核を発病することもあります。

50年前までは、年間10数万人が亡くなる、死亡原因の第一位とされる病気でした。現在、結核は注意すれば予防も

でき、薬を飲めば完治できる病気です。「過去の病気」だと思われていますが、実は、今でも年間2万5千人以上の患者が新たに発症し、2千人以上が亡くなっています。

◎どうして結核はまだ多い？

・若い世代は、結核に対する免疫が弱いため、感染者から容易に感染してしまう傾向があります。

・結核の発病者の半数以上が60歳以上です。若い頃に結核に感染し、老化などによる免疫力の低下等により、高齢になつてから発病するケースが増えています。

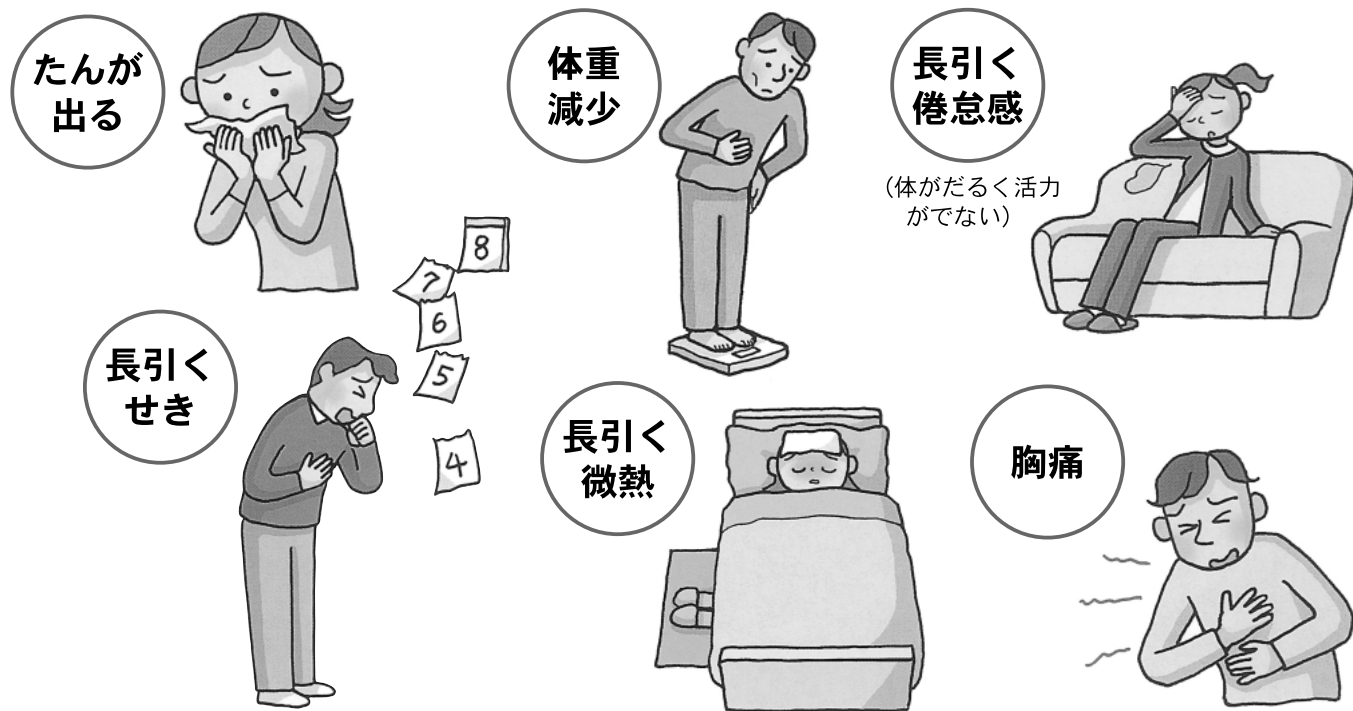
・結核の症状が現れても、患者や医師が気付かず受診や診断が遅れがちになることもあります。そのため、学校や病院、会社などでの集団感染につながることもあります。

◎初期の症状は、かぜに似ています。

せきが2週間以上続くようなら、結核を疑いましょう。

その他にも、たんや発熱などの風邪のような症状が長引く場合、早めに受診しましょう。

【図1】



**\*お知らせ\***  
 9月28日(火)～30日(木)は、結核検診があります。  
 対象者：65歳以上 料金：無料

※対象者の方には後日、詳しい内容について郵送にてお知らせします。



◎結核予防のポイント  
結核の発病を防ぐには、免疫力の低下につながる不規則な生活を避け、規則正しい生活と健康管理を心がけましょう。結核は早期発見が大切です。定期的に健診をうけ、結核の兆候がないかチェックしましょう。【図2】

# こせきのまど

## ◎お誕生おめでとう

若佐 彪雅(男・6/22)真 之(三保野)

## ◎おくやみ申し上げます

菊池ヨミエ(85歳)菊池長次郎の妻(大豆田)

田中 セツ(93歳)杉山チセの母(松木)

伊藤 しさ(78歳)伊藤由太郎の妻(三保野)

菊池 みき(88歳)菊池繁実の母(大豆田)

鳥山 フミ(68歳)鳥山勝美の妻(有畑)

紫葉フチエ(81歳)鳴海光子の母(雲雀平)

## 『こせきのまど』の掲載について

婚姻、出生に関しては、特にお申し出がない限り広報への掲載はいたしません。

おくやみ欄について掲載して欲しくない方は、税務町民課窓口へ届出の際にお申し出ください。

## ●暮らしと電気安全

### 9月

### 避難するときは、電気も切って。

盛夏をすぎた210日、東北地方は台風の到来の時期です。

地震や台風、浸水などで避難を余儀なくされる場合があります。避難をするときは、必ず電気を切ってから家を離れることをお勧めします。あわてずに「ブレーカー」(契約ブレーカー)を「切」にしましょう。

また、ガスの元栓も必ず止めましょう。

避難先から帰宅し、電気を使う時は、その前に安全を確認してからスイッチを入れてください。

ガス漏れがありますと、スイッチの火花でガス爆発になることや、水に浸かった電気機器で感電することがあります。

## 財団法人東北電気保安協会

汽車おりて晩夏の町の案内板  
連日の記録破りの晩夏かな  
草木の伸び留まりて晩夏かな  
忘れ録ひっそりと有る晩夏光  
浜風がそろそろ恋し夏探し  
過ぎ去れば美しき想ひ出晩夏光  
子の友の晩夏染しやバーベキュー  
一面に続く水田晩夏かな  
客帰り隙間のできし晩夏かな

せせらぎ旬会

宝 翠 千 水 亀 世 礼 仁  
著 昭 武 藻 々 千 代 見 恵



# 駐在所 だより

横浜駐在所  
☎78-2110

## 秋の全国交通安全運動のお知らせ

9月は、秋の交通安全運動期間です。今年は既に2件の交通死亡事故が発生しており、2名の犠牲者が出ておりますので、いつも以上に交通安全を心がけましょう。

### ■期間

平成22年9月21日(火)～9月30日(木)の10日間

### ■運動の重点

- ①高齢者の交通事故防止
- ②夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止  
(特に反射材用品等着用の推進)
- ③全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ④飲酒運転の根絶

### ①高齢者の交通事故防止

平成22年7月末現在、高齢者で全体の約72%を占めています。

ドライバーのみなさんは、高齢者を見かけた場合はスピードを落とすなど思いやりのある運転に努め、高齢者の方も交通ルールを守り交通事故に遭わないようにしましょう。

### ◆夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止

(特に、反射材用品等着用の推進)

ドライバーのみなさんは夕暮れ時のライト早め点灯するなどして、交通事故を防ぎましょう。歩行者のみなさんは、外出する時は、明るい色の服装や、反射材を身につけることを心がけましょう。自転車利用のみなさんは、自転車に反射材を付け、夜間はライトの点灯をお願いします。

## 平成22年7月末の人身事故発生状況

区分	平成22年						平成21年			前年比		
	7月中			累計			累計			発生	死者	傷者
町村別	発生	死者	傷者	発生	死者	傷者	発生	死者	傷者			
野辺地町	6	0	8	30	1	37	24	0	36	+6	+1	+1
横浜町	3	1	2	15	2	14	8	0	14	+7	+2	±0
六ヶ所村	2	0	2	9	0	11	16	0	22	-7	±0	-11
合計	11	1	12	54	3	62	48	0	72	+6	+3	-10

毎月1日は「県民交通安全の日」・15日は「高齢者交通安全の日」

## 平成22年7月末の物件事故発生状況

区分	平成22年		平成21年		前年比
	7月中	累計	累計	累計	
野辺地町	17	159	178		-19
横浜町	4	73	53		+20
六ヶ所村	12	138	112		+26
合計	33	370	343		+27